人気温泉旅館ホテル250選限定企画

長野県・扉温泉

明神館

時代に合った投資続ける

温泉が多い信州でも特に「西の白骨、東の扉」と称される名湯・扉温泉の明神館（齊藤茂行社長）。1931年6月に創業、今年で84年目を迎える。

扉温泉の名前は、天の岩戸を開いた天手力雄命あまのたぢからおのみことが戸（扉）を戸隠神社に運ぶ途中にこの地で休んだという神話にちなむ。明神館は、創業者の齊藤武茂氏が「神様たちの宿」という意を込めて名付けた。

歴史

明治初期に発見された扉温泉は「胃腸に効く」として湯治客の人気を集めてきた。山奥の小さな旅館だった明神館も、今では日本を代表する温泉宿に成長した。

扉グループはその後も時代に合った投資を続けた。「日本の旅館はかくあるべき」という信念に基づき発展した明神館のほか、伊豆河津に「秘湯の宿　龍」、松本市内ではレストラン「花とびら」を運営。明神館の齊藤忠政専務が国の登録有形文化財を利用しレストラン「ヒカリヤ」を作り、東京駅丸の内JPタワーKITTE内の「信州松本ヒカリヤ」を運営するなど、一大観光グループとして注目されている。

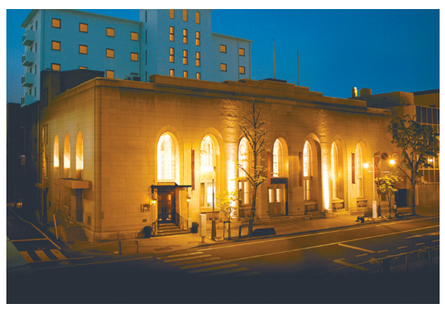
さらに昨年6月、国宝松本城近くのホテルアルモニービアンを買収。「松本丸の内ホテル」として営業を始めた。

商都として栄えた松本市は、松本城と重要文化財の旧開智学校などの史跡のほか、なまこ壁の土蔵造りの店が並び、城下町の風情を残す「中町通り」、女鳥羽側を挟んで対岸にある城下町の街並みを再現した「縄手通り」など、伝統を大切に守る街並みが残り、観光客は歴史に触れながら散策を楽しむことができる。

松本丸の内ホテルは松本城から徒歩2分の好立地。高層階の部屋の北側からは松本城が見え、西側の高層階の部屋からは乗鞍岳をはじめとした北アルプス連峰を一望でき収。特にスイートルームからの眺望は絶景だ。

▽明神館は長野県松本市入山辺8967。☎0263(31)2301。http://www.tobira-group.com/myojinkan/

立ち湯「雪月花」


松本丸の内ホテル外観

山梨県・石和温泉

華やぎの章 慶山

ステーキと旬彩懐石

料理に定評のある華やぎの章慶山（千須和昌和社長）。2009年9月にステーキ懐石を提供する「牛鉄板焼処『千』」（カウンター12席）、10年3月に旬彩懐石の「客前割烹『昌』」（同8席）が相次いでオープン、真新しい施設での食事に宿泊客の評判は上々だ。

料理・食事

完全予約制。18～19時半と20～21時半の2部制を採っているため、ゆったりと落ち着いた雰囲気で料理を味わえる。

千ではシェフが目の前でもてなす甲州牛・甲州ワインビーフの鉄板焼きフルコースが、昌では板前が見事な腕前で魚を捌き、新鮮な刺身と熱々の天ぷらが楽しめる。

このほか、みのぶゆばをふんだんに使った「湯葉懐石」や野菜を中心に素材の効能を生かした慶山オリジナルの「薬膳料理」なども

ぜひ味わってほしい。

▽華やぎの章慶山は山梨県笛吹市石和町市部822。☎055(262)2161。http://www.keizan.com/

牛鉄板焼処「千」での食事風景

静岡県・観音温泉

飲泉、自家源泉かけ流しの秘湯　観音温泉

奥伊豆、純粋無垢な源泉かけ流し

「飲泉・自家源泉かけ流しの宿」観音温泉（鈴木和江社長）は、奥伊豆の豊かな山間にたたずむ1軒宿。昭和38年、先代社長が温泉掘削を始め、出湯とともに「観音像」を出土、観音温泉が産声をあげた。

この温泉では3本の源泉から湧き出る毎分600㍑もの極上源泉が、すべてのもてなしに息づいている。PH9・5の強アルカリ泉、硬度が1にも満たない超軟水、話題のシリカを豊富に含む源泉は、〝美肌〟を超越してお肌をすべすべにすることから〝うぶ肌の湯〟とまで言われるようになった。飲んでおいしく飲

温泉・浴場

泉にも最適で日頃の食生活で酸性に偏りがちなアルカリバランスを整える効果も期待される。ペットボトル入りの観音温泉水「飲む温泉・観音温泉」は、モンドセレクションで最高金賞と国際優秀品質賞を同時受賞した。都内3ツ星レストランのスープにも使われ、この地では煮る、炊く、蒸す、焼く、蒸かすなど全ての調理にこの極上の観音温泉水が使われている。

敷地内の裏山に設置された観音農園ハウスでは、芳醇な甘みのトマトや無農薬野菜が自家栽培され、アルカリ源泉で漬け込んだ梅干とともに大好評。さらに地場の旬な海産物も豊富で〝地産地消・天然の恵みのおもてなし〟に徹底的にこだわっている。

温泉棟は、従来の源泉利用の星空の満天露天風呂・大総檜風呂の「ガラティア観音乃湯」、新たに産声をあげた第3号源泉を日帰り温泉や貸切風呂で堪能できる「観音プリンシプル」の二つ。

宿泊棟は、プライベートな露天風呂付きの静かな奥座敷「ピグマリオン」、星空の満天檜風呂や足湯付きの部屋「本館」、豊かな森林ゾーンにたたずむ庭園檜風呂付きの部屋「正運館」、観音温泉発祥の地で昔ながらの湯治や連泊に最適な「産土（うぶすな）亭」など、四つの館がバリエーション豊富に用意されている。

▽観音温泉は静岡県下田市横川1092の1。☎0558（28）1234。http://www.kannon-onsen.com/

ガラティア観音乃湯

観音温泉ピグマリオン「竹の間」

岐阜県・長良川温泉

十八楼

創業150年以上の老舗

鵜飼で有名な岐阜長良川温泉。十八楼（伊藤善男社長）は長良川の河畔に建ち、鵜飼と温泉を楽しむ宿泊客でにぎわいを見せている。

歴史文化

創業は江戸時代末期の万延元年（1860）。屋号は松尾芭蕉が岐阜来遊時に夏の鵜飼の様子を詠んだ「十八楼の記」にちなんでいる。154年という長い伝統を誇る老舗旅館で、伊藤善男社長は8代目に当たる。

十八楼は、老舗の伝統を守りつつ、新たな時代を迎えるに当たり、創業150年記念事業の一環として一昨年、旧家の蔵を再利用した「蔵の湯」をオープン。昨年5月には、蔵の湯と露天風呂、展望内風呂を備えた『お湯処「川の瀬」』をリニューアルオープンした。

2010年より宿泊客限定で毎日開催している「川原町散策ミニツアー」は、宿周辺の古い町並みと相まって、東の間のタイムトリップを味わえる。

▽十八楼は岐阜県岐阜市湊町10。☎058（265）1551。http://www.18rou.com/

お湯処「川の瀬」露天風呂

岐阜県・下呂温泉

水明館

芸術と伝統文化を堪能

岐阜県下呂温泉の飛騨川沿いに建つ水明館（瀧檜。老松、若康洋社長）は同温泉地を代表する温泉リゾート旅館。館内には、四季折々の美しさを映す日本庭園や本格的な能舞台があり、いたるところに芸術品が飾られている。

同館で人気の「館内ツアー」は、水明館を熟知した支配人が館内や収蔵品の詳しい説明を行うもの。毎回大勢の宿泊客を楽しませている。無料で毎日夕方5時から開催している。

館内ツアー

能舞台「石橋の間」は観世流能楽師・関根祥六師の監修で建築された本格能舞台。鏡板は樹齢500年の木曽松の絵は故・林功画伯（愛知県立芸大教授）の作品。

画廊は「大観の間」と名付けられ、横山大観をはじめ日本画の巨匠たちの作品が飾られており、季節により作品が架け替えられる。

館内には、他にも、人間国宝・加藤卓男の大作「泉郷に憩う」、中島千波画伯の「臥龍桜爛漫」など、著名作家の芸術品や全国各地の貴重な名石を展示しており、さながら美術館の様。

また、材木集めに10年以上の年月をかけて完成した宿泊棟「臨川閣」など、飛騨の匠の技が活かされた施設も多数あり、日本の伝統文化を体感できる。

水明館では、3カ所の大浴場で湯巡りが楽しめる。敷地内にある山水閣の内風呂付き野天風呂、飛泉閣の展望大浴場、臨川閣では檜の大浴場と、それぞれ趣のある浴場で楽しめる。展望大浴場は24時間利用できるのも嬉しい。山水閣、臨川閣、青嵐荘は全室、温泉を利用した内風呂が楽しめる。臨川閣、青嵐荘の浴槽は高野槙を使用。露天風呂付き客室もある。

料理は、旬の食材や地元産の食材を使った料理にも定評がある。客室や宴会場で出される料理以外にも館内のレストランや料理茶屋などにもこだわる。飛騨牛や野菜などの食材は独自ルートで仕入れるほどだ。

▽水明館は岐阜県下呂市幸田1268。☎0576（25）2800。http://www.suimeikan.co.jp/

人気の館内ツアー

能舞台「石橋の間」

富山県・宇奈月温泉

延楽

こだわりの料理に自信

富山県宇奈月温泉の延楽（濱田政利社長）は、旅館料理の枠を超えたこだわりの味を追求している。生地港から毎朝仕入れる魚介、地元の米や野菜を使い、受け継がれてきた伝統の調理技術で宿泊客をうならせている。

料理のコースは、海、山の幸を特注の器で堪能できる「匠の膳」をはじめ、季節感あふれる逸品が並ぶ「雅の膳」「黒部旬彩膳」「黒部せせらぎ膳」などを用意している。

料理・食事

秋、冬はベニズワイガニ、ホンズワイガニが膳を彩る。旬の魚もそれぞれにうまい。白身魚の刺身には伝統的な調味料「煎り酒」をつけだれに。この煎り酒が評判で、瓶詰めにした商品が館内で販売されている。

米は地元の契約農家からコシヒカリを仕入れている。

上質な料理を楽しむとともに、黒部渓谷を望む露天風呂に浸かれば至福のひと時が過ごせる。

▽延楽は富山県黒部市宇奈月温泉347の1。☎0765（62）1211。http://www.enraku.com/

味にも器にもこだわった「匠の膳」

富山県・金太郎温泉

金太郎温泉

自慢の泉質、掛け流し

金太郎温泉（木下荘司社長）は、食塩泉と硫黄泉が混合した珍しい泉質の湯が自慢。源泉掛け流しで、成分の濃さと美肌などの効能が評判だ。

温泉・浴場

温泉施設も個性的。大浴場「壁画大浴殿」は300坪で、文化勲章受章者、浅蔵五十吉氏の陶板作品を浴室一面に配している。日帰り温泉施設「カルナの館」内の「立山連峰パノラマ大浴殿」と「庭園大露天風呂」は合わせて800坪に及び、全国から集めた銘石、奇岩を使い、浴場内に雄大な立山連峰を再現している。

ユニークな屋号は、創業者、石黒七平氏が「（人々が）金太郎さんのように全身に力があふれ、元気いっぱいに、健康になるように」と名付けた。客室数は90室。

料理は四季の日本海の旬を味わえる。春はホタルイカ、冬はズワイガニ、寒ブリなどがうまい。

▽金太郎温泉は富山県魚津市天神野新600。☎0765（24）1220。http://www.kintarouonsen.co.jp/

庭園大露天風呂

石川県・和倉温泉

加賀屋

台湾で日本のおもてなし

石川県・和倉温泉の加賀屋（小田與之彦社長）は明治39年創業。屋号には創業者の小田與吉郎氏が加賀・津幡の出身であることと、天下に響く雄藩加賀百万石のように、大きく飛躍したいとの願いを込めている。

加賀屋のおもてなしの心は、「いつもお客さまの満足を第一に考え、働いた」という先代女将の小田孝さん（故人）の精神から生まれた。小さな気配り、心配りを基本にした客室係のサービス。今はどこでも見られる習慣、女将たちによるあいさつまわりは、ここ加賀屋で始まったと言われる。

接客・サービス

「小田孝はお客さまには『できません』とは言わないようにして、一人ひとりのお客さまと真剣勝負をするつもりで、サービスにあたった」（同館）。その心は今も受け継がれている。

そうした加賀屋のきめ細やかなもてなしをそのまま海外で展開しているのが、2010年12月18日に台湾にオープンした「日勝生加賀屋」だ。

台北市中心部から車で約30分のリゾート地、北投温泉に建つ。地上14階、地下4階で総客室数は90室。日本の伝統的工法による数寄屋建築で、温かみのある空間が特徴。和室や大浴場のほか、宴会場、レストラン、エステなどを備える。

加賀屋で研修を受けた客室係が着物姿で夕・朝食を提供。日本人スタッフも常駐し、「おもてなしの心は加賀屋そのまま」。

料理も日本文化そのままに、加賀屋で修練を積んだ料理長が自慢の和風会席を提供する。客室または和式宴会場でのサービスとなる。

温泉は大屯山から流れ来る白硫黄泉。掛け流しでぜいたくに使っている。大浴場、客室風呂のほか、日帰り用の個人風呂を備える。

浴衣、草履、畳、ふすま、障子、琴、抹茶などの日本文化を体験できるとあって、地元客らに人気だ。

▽加賀屋は石川県七尾市和倉町ヨ部80番地。☎0767（62）1111。http://www.kagaya.co.jp/

おもてなしの心は日本の加賀屋そのまま（日勝生加賀屋）

「日勝生加賀屋」全景